

『地域の森林を守る活動』

北森建の後志支部（長 勇支部長）と倶知安支部（柏谷匡胤支部長）は、平成25年11月6日（水）京極町の道有林（9林班）内において、後志総合振興局の森林室及び林務課の職員、並びに両支部会員などの参加のもと、植樹祭を行いました。

この活動は、平成21年3月に当時の後志支庁長と北森建後志・倶知安支部長との間で締結した「森林災害復旧支援等に関する協定」に基づき行ってきた森林パトロール等の地域の森林を守る活動を、より有効的に発展させて幅広い社会貢献活動を行うことを目的として実施するもので、今年で4回目の取組みとなります。

これまでには、積丹町美国小学校グラウンド裏の枝払いや地域の清掃、寿都町浜中地区の保健保安林内の管理歩道の枝落としや補修、島牧村賀老地区の千走川流域の無立木地への植栽など、地域住民や各団体と共同で「地域の生活環境保全」や日本海沿岸地域の「磯焼け解消による漁業資源の維持・増進」のため、地域の社会貢献活動として実施してきました。

今年の活動は、羊蹄山麓のすそのに広がる京極町の道有林内で、現地は緩斜面で長年にわたり土砂の押出しも随所に見られ、また、保安林管理用道路を挟んで民有地との境界とも近接していることから、無立木地にトドマツ250本を植栽し、地域の環境保全を図ることを目的として実施したものです。

当日は、幸いにも晴天に恵まれ、北森建両支部の会員ほか、後志総合振興局森林室の片岡室長、田中森林整備課長や産業振興部林務課の濱田課長、朝倉主幹はじめ各担当職員など、総勢46名の皆様に参加をいただき、長支部長、片岡室長の挨拶に続いて田中森林整備課長の指導により植栽に取り掛かり、作業は1時間程度で終了しました。

植樹祭の後には、参加者全員で懇談を兼ねた昼食会を催すなど、和気あいあいのうちに全日程を終了し、今後も各市町村や各団体の意向を取り入れながら、こうした活動を継続的に実施していくことを確認しました。

北森建後志支部事務局長 藤川政士（小樽建協倶知安支所）



片岡室長のご挨拶と両支部長



晩秋の道有林でトドマツを植栽